

## 測定方法及び数値の取扱方法

## 1 測定方法

測定方法は、次表の項目ごとに同表の測定方法の欄に掲げる方法による。

用語)「公共用水域告示」：昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号

「地下水告示」：平成 9 年 3 月 13 日環境庁告示第 10 号

項 目	測 定 方 法	単 位	報告下限値
水温	JISK0102 の 7.2 に定める方法	℃	—
pH	JISK0102 の 12.1 に定める方法(試料採取後直ちに測定)	—	—
電気伝導率	JISK0102 の 13 に定める方法(試料採取後直ちに測定)	mS/m	—
カドミウム	JISK0102 の 55.2、55.3 又は 55.4 に定める方法	mg/L	0.0003
全シアン	JISK0102 の 38.1.2(JISK0102 の 38 の備考 11 を除く。以下同じ。)及び 38.2 に定める方法、JISK0102 の 38.1.2 及び 38.3 に定める方法、JISK0102 の 38.1.2 及び 38.5 に定める方法又は公共用水域告示付表 1 に掲げる方法	mg/L	0.1
鉛	JISK0102 の 54 に定める方法	mg/L	0.005
六価クロム	JISK0102 の 65.2(JISK0102 の 65.22 及び 65.27 を除く。)に定める方法(ただし、次の 1 から 3 までに掲げる場合においては、それぞれ 1 から 3 までに定めるところによる。) 1 JISK0102 の 65.21 に定める方法による場合(原則として光径 50mm の吸収セルを用いること。 2 JISK0102 の 65.23、65.24 又は 65.25 に定める方法による場合(JISK0102 の 65 の備考 11 の b) による場合に限る。) 試料に、その濃度を基準値(0.02mg/L)増加するように六価クロム標準液を添加して添加回収率を求め、その値が 70～120% であることを確認すること。 3 JISK0102 の 65.26 に定める方法より塩分の濃度の高い試料を測定する場合 2 に定めるところによる場合、JISK0170-7 の 7 の a) 又は b) に定める操作を行うこと。	mg/L	0.01
砒素	JISK0102 の 61.2、61.3 又は 61.4 に定める方法	mg/L	0.005
総水銀	公共用水域告示付表 2 に掲げる方法	mg/L	0.0005
アルキル水銀	公共用水域告示付表 3 に掲げる方法	mg/L	0.0005
P C B	公共用水域告示付表 4 に掲げる方法	mg/L	0.0005
ジクロロメタン	JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	mg/L	0.002
四塩化炭素	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	mg/L	0.0002
クロロエチレン	地下水告示付表に掲げる方法	mg/L	0.0002
1,2-ジクロロエタン	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1 又は 5.3.2 に定める方法	mg/L	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	mg/L	0.01
1,2-ジクロロエチレン	シス体にあつては JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法、トランス体にあつては、JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	mg/L	0.008
シス-1,2-ジクロロエチレン		mg/L	0.004
トランス-1,2-ジクロロエチレン		mg/L	0.004
1,1,1-トリクロロエタン	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	mg/L	0.001
1,1,2-トリクロロエタン	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	mg/L	0.0006
トリクロロエチレン	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	mg/L	0.001
テトラクロロエチレン	JISK0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	mg/L	0.0005
1,3-ジクロロプロペン	JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	mg/L	0.0002
チウラム	公共用水域告示付表 5 に掲げる方法	mg/L	0.0006
シマジン	公共用水域告示付表 6 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	mg/L	0.0003
チオベンカルブ	公共用水域告示付表 6 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	mg/L	0.002
ベンゼン	JISK0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	mg/L	0.001
セレン	JISK0102 の 67.2、67.3 又は 67.4 に定める方法	mg/L	0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素にあつては JISK0102 の 43.2.1、43.2.3、43.2.5 又は 43.2.6 に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては JISK0102 の 43.1 に定める方法	mg/L	0.055
硝酸性窒素		mg/L	0.05
亜硝酸性窒素		mg/L	0.005
ふっ素	JISK0102 の 34.1(JISK0102 の 34 の備考 1 を除く。)若しくは 34.4(妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化素が多量に含まれる試料を測定する場合にあつては、蒸留試薬溶液として、水約 200ml に硫酸 10ml、りん酸 60ml 及び塩化ナトリウム 10g を溶かした溶液とグリセリン 250ml を混合し、水を加えて 1,000ml としたものを用い、JISK0170-6 の 6 の 2 注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)に定める方法又は JISK0102 の 34.1.1 c) (注 2 第三文及び JISK0102 の 34 の備考 1 を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合においては、これを省略することができる。)及び公共用水域告示付表 7 に掲げる方法	mg/L	0.1
ほう素	JISK0102 の 47.1、47.3 又は 47.4 に定める方法	mg/L	0.02
1,4-ジオキサン	公共用水域告示付表 8 に掲げる方法	mg/L	0.005

## 2 数値の取扱方法

### (1) 水温

数値の最小の位は小数点以下1桁とし、小数点以下2桁目を切り捨てる。

### (2) pH

小数第2位を四捨五入し、小数点以下1桁までとする。

### (3) 電気伝導率

数値は整数とし、小数点以下を切り捨てる。

### (4) 環境基準項目等

ア 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨てる。

イ 報告下限値未満の数値については、「報告下限値未満」（記載例「<0.001」）とし、報告下限値の桁を下回る桁については、切り捨てる。

ウ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、まず、硝酸性窒素と亜硝酸性窒素の測定値の合計値を求めた後、上記ア、イの扱いをする。

ただし、硝酸性窒素と亜硝酸性窒素の測定値の何れか一方が報告下限値未満の場合は、その報告下限値の数値を測定値として扱う。

エ 1,2-ジクロロエチレンについては、まず、シス-1,2-ジクロロエチレンとトランス-1,2-ジクロロエチレンの測定値の合計値を求めた後、上記ア、イの扱いをする。

ただし、シス-1,2-ジクロロエチレンとトランス-1,2-ジクロロエチレンの測定値の何れか一方が報告下限値未満の場合は、その報告下限値の数値を測定値として扱う。

オ 上記ウ、エの場合については、合計値の他、それぞれ単独での濃度もあわせて報告する。